

『課題解決型インターンシップ』

株式会社スミオン 実習報告

課題解決型インターンシップとは、

- ・『実践する力』（学んだ知識を応用し、実際の仕事の中で活用していく力）の育成を目的とした、2・3年生対象の選択科目「インターンシップⅠ」「インターンシップⅡ」の1つの型。
- ・企業が実際に抱える課題に取り組み、課題を解決するためのプロセスを実践することで実社会でも応用可能な汎用的能力を養うことを目的とする。2名程度でチームを組み活動することにより、自分の専門性を活かしながら他者とチームで働力を養うことができる。

○企業名：株式会社スミオン

○概要：新型コロナウイルス感染拡大の状況を受けて、テレワークでのインターンシップとなりました。それに伴い、インターンシップ生はそれぞれが全く異なるプロジェクトに取り組み、それを4週間実施しました。インターンシップ期間中は Zoom と Slack を用いて社員の方とコミュニケーションをとり、各自自分のプロジェクトを進めていきました。最終日には出社をして、それぞれが取り組んだプロジェクトとその成果などを社員の方の前で発表しました。

インターンシップ生紹介

電子情報工学科 2年 早島 未来

○4週間のプロジェクト：保育向けクラウドサービスの開発に関わるテスト作成

○インターンシップに取り組んでのコメント

テレワークということで不安はありましたが、社員の方が優しくサポートしていただいたおかげで、楽しんでインターンシップに取り組みました。

知能機械工学科 3年 隈田 憲成

○4週間のプロジェクト：新製品開発の企画「Redmineの入力しなくなるデザインについて」

○インターンシップに取り組んでのコメント

Redmine について何も知らない状態だったので社員のみなさんの意見を聞きながら新製品開発の案を考えることができました。

情報工学科 3年 池田 京矢

○4週間のプロジェクト：UiPathを使用してプロジェクトのテスト自動化

○インターンシップに取り組んでのコメント

日頃の大学生活の中では経験できなかった体験を多くさせていただいて、3年生の夏休みが社会に出ていく身として意味のあるものになり、大きく成長できた。

最終報告会

最終日には出社し、4週間取り組んだプロジェクトの成果を発表しました。

発表では、1人15分程度で、取り組んだプロジェクトの内容と、その経験から学んだことを発表しました。それぞれがスライドと原稿を用意しました。

最終報告会は Zoom 上で行いました。たくさんの社員の方が聞きに来てくださってうれしかったです！



～インターンシップを通して学んだこと～

○仕事をやるうえで、重要なのは伝達力と、発言力であるということ学びました。また、どちらも今の私に足りないということをインターンシップ期間中で実感しました。今後の大学生活を通して、伝達力と発言力を鍛えていきたいです。(早島)

○学んだことは、計画性を意識することです。まずは全体をみて方向性を決める。そして行動の優先順位をつけることができ、行動して全体の様子を見る。時には、正しい方向に進んでいるかを確認してもらうというプロセスが重要だと感じました。(隈田)

○人と協力して作業する上での、報告、連絡、相談の重要性が分かり、またその仕方が大事で、5W1Hを意識することが必要だと学んだ。そして、自分には、人に説明するコミュニケーション能力が足りないということも知ることができた。(池田)